

## 令和5年度 第3回 定例会から

令和5年度逗子市議会第3回定例会が9月6日から24日間にわたり開催され、公明党のたばた智子は9月28日、一般質問でカーボンニュートラル2050とシティプロモーションについて取り上げました。

たばた智子 <https://lit.link/tabatomo>



## 地球温暖化対策カーボンニュートラルについて

【田幡智子】温暖化が加速し脱炭素が急がれるが、0円ソーラー制度やEV公用車の土日の貸し出しを広く市民に周知するための説明会や体験会を考えるとどうか。

【市長】仕組みを周知する方法としてイベント形式は大変有効である。関係機関の協力を仰ぎながら企画を検討していきたい。

【田幡】公共施設整備計画を前倒してLED化、屋根や外壁等、ブラインドなどに遮熱対策の実施が急がれるがどうか。



【田幡】昨年の質問に応じて、小坪保育園のサンルームと小坪小学校に遮熱シートが貼られた。今後、更に教育現場での遮熱、省エネ対策を進めて、子供たちの学習環境を整える必要があるが対策は考えているのか。

【教育部長】今年貼った遮熱シートは効果があった。今後の学校の省エネ対策、遮熱対策では条件のあうところに整備するよう検討していきたい。現在実施している、久木小学校の大規模改



修においても遮熱、省エネ対策に配慮した資材や工法を採用している。  
【田幡】ごみの減量や脱プラスチックを目的に市役所1階にウォーターサーバーが取り付けられた。1回の利用でペットボトル1本が削減できるとして計数カウンターがついており、プラスチック削減効果が期待される。更に市内公共施設に設置してゆくことを検討してはどうか。  
【環境都市部長】田幡議員の昨年の提案があり、ウォーターサーバーを市役所1階に設置してきた。現在、市民交流センター、図書館、逗子アリーナ、体験学習施設スマイル、小坪、沼間のコミュニティセンターに設置を検討している。年度内の設置に向けて調整していく。



## 新しいシティプロモーション婚活について

【田幡】子育て世代に向けたや支援策やシティプロモーションをしてきたが、独身の方やお子さんがいない世帯に向けての支援は少ないとの指摘があった。結婚前の若い世代に向けて、逗子市をアピールしながら、出会いのチャンスを作る婚活イベントを計画してはどうか。

【市長】神奈川県でも「恋カナ」と銘

打った婚活イベントや、国と県の補助金を利用し結婚新生活支援事業をしている県内の自治体がある。各自治体の効果を見ながら判断していきたい。



## フェスティバルパーク整備に関する決議を提案



フェスティバルパーク=逗子文化プラザ

田幡智子は修繕に当たっては環境に配慮した工法を調査・検討をすることを求める決議案を提出、決議案は賛成多数で可決されました。

市民交流センター内の芝生による約860㎡のフェスティバルパークは市民の憩いの場や催し物開催の場として利用されていますが、状態が激しく劣化しており、根本的な修繕が必要です。市が検討している人工芝は天候に左右されず活用しやすい反面、夏場は高温になることも懸念されます。

公明党・田幡智子は逗子文化プラザ市民交流センターフェスティバルパーク整備についての決議を提案しました。



公明党  
逗葉支部  
支部長  
Tomotaka Tomiyama

逗子市議会議員  
**たばた智子**



公明党  
逗葉支部  
副支部長  
Makiko Ebuchi

逗子市議会議員  
**えぶち真紀子**



公明党  
逗葉支部  
副支部長  
Kayoko Hoshino

葉山町議会議員  
**星かよこ**

## 次期衆院選比例区 南関東ブロック第6次公認 予定候補を決定

公明党は10月5日の中央幹事会で、次期衆院選の第6次公認予定候補として、比例区の南関東ブロック(神奈川県、千葉県、山梨県)で新人の沼崎満子、原田直樹両氏の擁立を決定しました。公明党神奈川県本部代表の三浦のぶひる参議院議員は、「即戦力の二人と力を合わせて、日本を前に進めていきます」と語りました。



ぬまざき みつこ  
**沼崎満子**

**沼崎満子(ぬまざきみつこ)プロフィール**  
医師。筑波大学医学部卒業、同大学院で博士号取得。麻酔科医として救急医療現場に携わる。伊勢原協同病院で手術部長。母と障がい者のためのNPO法人を設立。働きながら、父の難病、母のがんの介護も経験。



はらだ なおき  
**原田直樹**

**原田直樹(はらだなおき)プロフィール**  
1990年鎌倉生まれ、鎌倉育ち。早稲田大学と北京大学を卒業。東京大学大学院とソウル大学大学院の修士課程を修了。公共政策を専門として野村総合研究所でコンサルタントとして活躍。妻とともに0歳児の子育てにも奮闘中。



▲左から三浦のぶひる、原田、沼崎両氏、えぶち真紀子、星かよこ

## 公明党 带状疱疹ワクチン助成と定期接種化を求める意見書を提案

50歳から発症率が高くなり、80歳までに3人に1人が発症するといわれている带状疱疹。治療が長引くケースや痛みなどの後遺症に苦しむ高齢者も少なくありません。

公明党は一定の年齢以上の国民に対するワクチンの有効性等を早急に確認し、带状疱疹ワクチンの助成制度の創設や予防接種法に

基づく定期接種化の実現に取り組んでいます。葉山・逗子・鎌倉各市町の公明党は、葉山町が令和4年12月の第4回定例会で、逗子市が3月の第1回定例会で、鎌倉市では9月定例会で政府に対して带状疱疹ワクチン助成と定期接種化を求める意見書の提出を提案。いずれも賛成多数で可決されました。



本会議で意見書を提案する公明党こたま文彦鎌倉市議  
10月3日

## 災害時あんしんカードを配布

公明党神奈川県本部は、防災啓発活動の一環として「災害時あんしんカード」を作成しました。本年は、1923年(大正12年)に発生した関東大震災から100年の節目。神奈川県を含む首都圏に未曾有の被害をもたらした震災の教訓を未来に生かしていくため、公明党神奈川県本部は、「災害時あんしんカード」を作成しました。

このカードには首都直下地震や南海トラフ地震など、いつ来てもおかしくない地震への備え、いざという時に取るべき行動などが記載され、「防災意識」を啓発する内容となっています。折り目に沿って、内側に折り込んでカード状にして財布や定期入れ、スマホケースなどにしまつて持ち運べます。



災害時あんしんカード



駅頭で災害時あんしんカードの配布と災害への備えを訴える三浦のぶひる県代表と沼崎、原田両氏 10月7日 大船駅